

令和 6 年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉中央中学校区 校番13 学校名 呉中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	・今年度の経営理念に基づいた経営目標であり、生徒の学校生活及び家庭生活の中から目標を定め、重点的な面から指標が設定され、どれもとても大切な目標・指標である。
目標達成のための方策の適切さ	A	・特に学力調査・定期試験における通過率30%以上の生徒音割合についての方策が素晴らしいと共に、実行されたことが先生と子どもの成長につながっている。継続を期待する。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	・アンケート項目の肯定的回答と学園文化フェスタの取組の成果や落ち着いた学校生活を送る上での根本となる指標が全て95%以上等、日々の取組が効果をあげていることがよくわかる。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・どの改善策も結果の分析を踏まえて、適切に考察されている。
その他		・業務改善について、時間外月45時間以内の割合は、大変難しいが、他校の成功実践例を参考に取り入れて、取組を進めてほしい。 ・ノーチャイムで行動できたり、あいさつや返事のポイントが高かったり、保護者のアンケートでは「各学級で子どもが大切にされている」や「安全で落ち着いた学校環境が整備されている」等のポイントが高く、先生方の日々の努力の成果がよく表れている。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・家庭学習についての課題は、塾の時間をどのように考えるかを意識統一することによって、取組方針を定めていく。 ・三点固定や家庭学習については、家庭の協力も必要なので、生徒会を中心とした取組や、PTAにも協力いただく等保護者も巻き込んだものにしていくように考えていく。 ・呉中央学園文化フェスタの取組によって、生徒の主体性が高まり、自尊感情の向上にも繋がってきている。引き続き、総合的な学習の時間を中心に自己表現活動の場を多く持ち、学び合い高め合う集団作りを進めていく。 ・日々の取組として、スタンダード(日記)100%提出や、朝、教師が教室で生徒を迎えることに1年間取り組んだことが、子どもとのつながりや落ち着いた学校生活に繋がっていると考えられるので、来年度以降も丁寧に継続していく。
--------------------	---